

行政視察レポート

常任委員会

議会では、毎年、各常任委員会が先進地を視察し、市政の参考となる諸施策の報告を行っています。以下は、6月定例会初日に報告された、委員長報告の概要です。



厚生

長野県小川村
新潟県上越市
長野県松本市

高齢者の在宅生活を支援する連携システム

長野県小川村は、高齢者が在宅での生活を継続・確保できるような環境を整えることを基本理念として、保健医療福祉を連携させた「包括医療システム」という独自の取り組みを実施しています。住民が何を考え、何を希望しているかの問題把握と解決に向け、調査・検討を行う包括医療組織を設置し、高齢者やその家族の意識改革、高齢者の生活の質を高めるため、職員が共通理念のもと、取り組んでいます。

新潟県上越市は、市単独で特色ある子育て支援事業を行っています。内容は、歳中高齢者を非常勤職員として雇用し、園児との世代間交流を促進する保育園士導入事業と専門的に緊急または一時的な保育サービスを実施し、家庭における育児機能の補完を図るために、24時間体制で特別保育を実施するファミリーヘルプ保育園事業と産後の体調不良等のため家事や育児が困難な家庭や、多胎児を出産した家庭等に、必要に応じてホームヘルパーを派遣する産後ヘルパー派遣事業、胎児情報提供や子育て相談を通じ、保護者の子育て不安の解消



松本市中央地区福祉ひろば前にて

総務

愛知県蒲郡市
三重県松阪市
大阪府豊中市

職員の手づくりによる事務事業評価システム

愛知県蒲郡市では、事務事業評価システムの構築に当たり、コンサルタント会社や専門家は一切入れず、

三重県松阪市では、新しい行政運営の仕組みとして、「市民が主人公の市政」を基本理念に、地方分権への対応と市民にわかりやすい行政を目指し、政策形成システム、市民参加・参画・協働システム、「行政評価システム」など8つのシステムで構成された「市政マネジメントシステム」を構築、14年度から順次、運用を開始しています。

さらに、このマネジメントシステムの実効性を高めるために、行政経営品質の導入を図り、継続的な改善活動を実施することにより、市民満足と職員満足の向上



豊中市役所にて

職員の手づくりで仕上げたこととです。評価は「達成度」「効率性」「公共性」「緊急度」「市民参加度」の5項目について各10点満点で採点する。ただし、10段階では、あいまいになるのを考え、5から、0点・3点・6点・10点の4段階評価で合計を出し、最終的な評価はA B C Dの4段階評価にするなど、市民にわかりやすい工夫をしています。

を指していくということでした。

入札制度の改革としては、条件付一般競争入札、郵便による入札、最低制限価格、くじにより決定した予定価格の85％に設定する等々により、工事における

愛媛県松山市は、平成14年3月に一般廃棄物処理基本計画を策定しました。市民・事業者・行政のパートナーシップにより、徹底したごみ減量と地域特性を活かした循環型社会システムの構築を目指し、松山市らしいオンリーワンの各種施策の検討・実施により、一人当たりごみ排出量を90gレベルまで下げていきたいと抱負を語っていました。

文教経済

を回り、楽しく子育てができる環境づくりを推進することを中心とした事業です。

長野県松本市は、「健康福祉21市民会議条例」を施行し、健康福祉づくりを総合的に推進しています。また、高齢者を初めとする市民が

住みなれた地域において、健康及び福祉、生きがいづくりを自分の力でつくり上げることを目的として、「福祉ひろば事業」が行われており、市内29地区を拠点に、各地区の特性を活かした内容で実施されています。

愛媛県松山市 上浦町 広島県広島市

愛媛県松山市は、平成14年3月に一般廃棄物処理基本計画を策定しました。市民・事業者・行政のパートナーシップにより、徹底したごみ減量と地域特性を活かした循環型社会システムの構築を目指し、松山市らしいオンリーワンの各種施策の検討・実施により、一人当たりごみ排出量を90gレベルまで下げていきたいと抱負を語っていました。

松山市内のNPO法人アクトイブボランティア21及び和泉保育園では、給食から出る生ごみをEMで堆肥

愛媛県上浦町立上浦小学校では、6年生の総合的学習で軽EMによる環境浄化活動にに取り組んでいます。児童のほか、保護者や地域有志が協



広島市議会棟にて



街路整備の現地視察（加世田市）

鹿兒島県加世田市の本町通り商店街では、商店街の再生を図るべく、街路事業と区画整理事業をあわせた形の、沿道区画整理型街路

事業により整備を図ることになりました。この事業は、当然、減歩はされますが、沿道権利者が移転することなく、整形された区画に新しい商店街が建ち並びことになり、平成元年度から工事着手し、平成8年度には全国街路事業コンクルの特別賞を受賞しています。

鹿兒島県指宿市の観音崎公園整備事業は、道の駅、地域交流施設、都市公園の3施設で

建設

を指していくということでした。

入札制度の改革としては、条件付一般競争入札、郵便による入札、最低制限価格、くじにより決定した予定価格の85％に設定する等々により、工事における

愛媛県松山市は、平成14年3月に一般廃棄物処理基本計画を策定しました。市民・事業者・行政のパートナーシップにより、徹底したごみ減量と地域特性を活かした循環型社会システムの構築を目指し、松山市らしいオンリーワンの各種施策の検討・実施により、一人当たりごみ排出量を90gレベルまで下げていきたいと抱負を語っていました。

予定価格に対する落札率は、改革前の13年度までは97%前後で推移していましたが、14年度については85.5%となりました。

そのほか大阪府豊中市でも、事務事業評価システム等を視察してきました。

鹿兒島県加世田市 指宿市 鹿兒島市

構成される複合的な整備事業であり、そのうち、地域交流施設の建設と管理運営を、すべてPFIにより委託しようとするものです。

従来型の公共事業方式で実施した場合、PFIで実施した場合の比較では、約1億6400万円、24.41%の削減率になることの結果であり、よって、PFI方式による観音崎公園整備事業が推進されることになったものです。

鹿兒島県鹿兒島市では、九州新幹線の一部開業が来春予定されていることから、西鹿兒島駅前広場整備事業が急ピッチで進められています。

主な内容は、バスターミナルは19バスを集約し、各種交通機関との乗り継ぎの利便性が高まるよう計画し、路面電車も道路中央部から駅前広場内に配置しています。

タクシー及び送迎用一般駐車場は、交通弱者の利用を考え、駅舎に一番近い駅前広場南側に配置し、安全で円滑な動線を確保する必要がありますが、公共地下通路を設けています。